



花みずきの 咲く風景

日米親善の花の交歓が行われてから百年、小松島市民の手で育てられた花みずきは、市内各所に花を咲かせ、五十三年（一九七八）にはアメリカ大使館との交流も始まった。



みずきちゃん

小松島市では、小松島市青年会議所が中心となって、明るく住みよいまちづくりをめざして花みずきの植樹運動を展開しています。この運動は、昭和五十一年（一九七六）青年会議所メンバーの発案によって始まり、後に「花水木を育てる会」が結成され、以来、市内各所に植樹を行うとともに、市民に販売して各家庭の庭で育ててもらおうと、さまざまな運動を展開してきました。こうした地道な育成活動の積み重ねによって、昭和六十三年には正式に小松島市の花として制定され、市内各所に根付いた花みずきは、四月下旬から五月にかけて白やピンクの可憐な花を咲かせては、市民に憩いと潤いを提供しています。

Chapter IV



A tree-planting campaign for flowering dogwoods has been going on since 1976. The citizens' steady efforts have made the trees strike root deep and the lovely white and pink flowers bloom in the spring throughout the city.

「記録より記憶」に残る
花水木運動

「ありがとうございます。可憐な花を咲かせました。」紅白の可憐な花を満開に咲かせている、花水木ロードを散策している時にかけていただいた言葉です。

市制五十周年関連事業で配布した、花水木の苗木が庭で大きく育ち花を咲かせたそうです。

花水木は苗木から成木に育てるのは難しいと言われています。きつと庭の土壌に適應したのと、愛情という肥料に恵まれたからだと思います。

最近の花水木を育てる会の事業は、市内小学校の卒業記念植樹・花水木少年野球大会優勝記念植樹を行うことによって花水木を子供達の思い出とともに大切に育ててもらいたい、そんな思いから「記録より記憶」に残る運動を行っています。

夏場の水やり、下草刈りは大変ですが、そんな時「苦勞様」「綺麗に咲きましたね。」そんな言葉が私たちにとって励みであり最高の肥料です。

花水木を育てる会会長
中川 正道